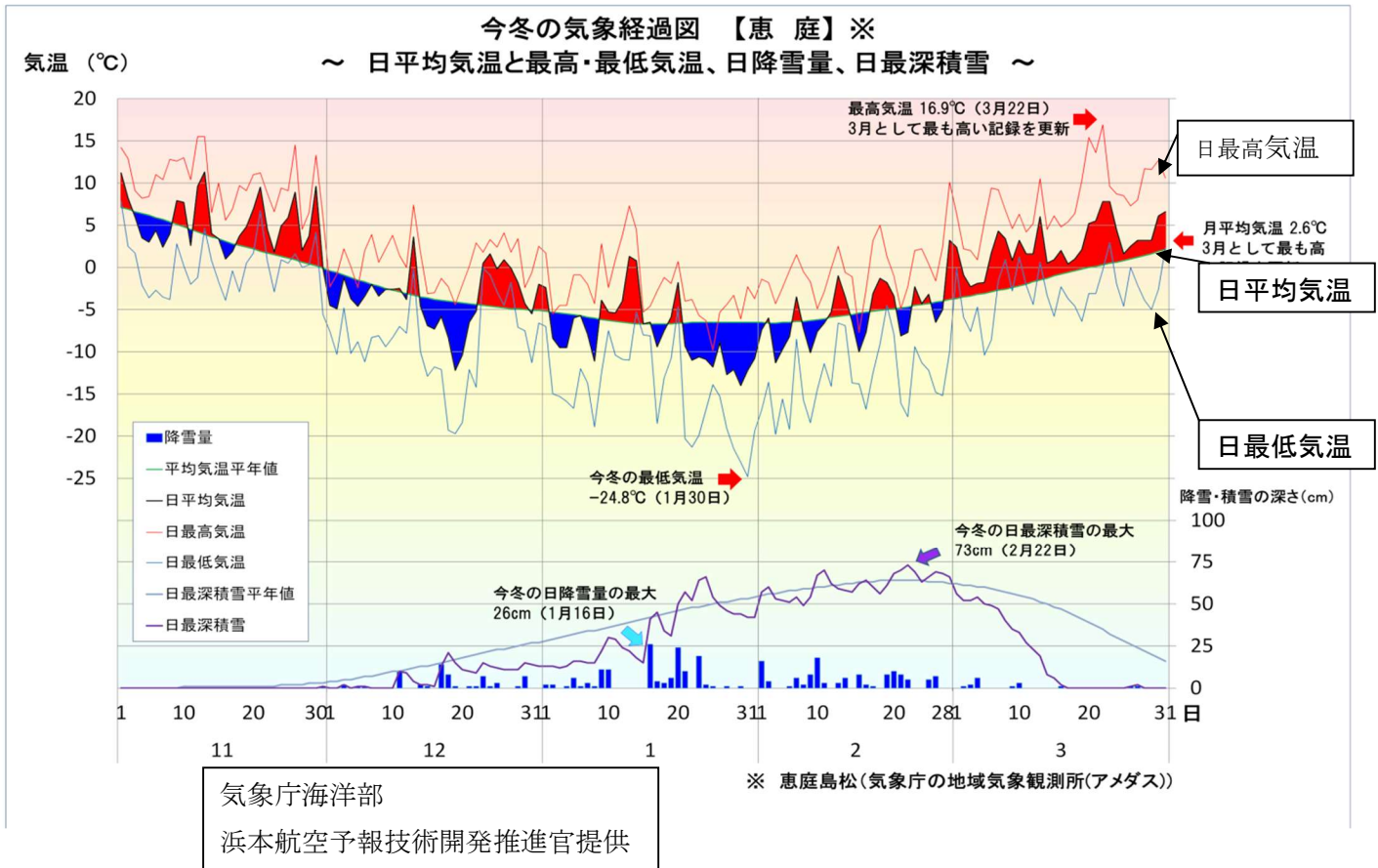


季節のまとめ

【今年の冬を振り返って】（令和4年11月～令和5年3月）

防災士 清水 為一



概況

恵庭のこの冬の特徴は、「比較的穏やかな冬であった」と言えるでしょう。

「月別経過」

（文中の*はその月の記録）

11月

上旬から中旬は高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったが、中旬後半から下旬にかけては前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪の降った日があった。

また、前線を伴った低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込むことが多かったため、気温はかなり高くなった。

*月平均気温：5.3度 高い方の第4位

*10分間降水量：3.0mm（1日） 多い方の第5位

12月

上旬から中旬にかけては、冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪の降った日が多かった。下旬になっても低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨の降った日が多かった。また、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだため気温はかなり高くなった。

この月の特徴としては、上・中旬は寒気、下旬は暖気の影響と寒暖の差が大きかった。

*10分間降水量：1.5mm（23日） 多い方の第8位

1月」

上旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪の降った日が多く、毎日降雪が観測された。

中旬は冬型の気圧配置が長続きせず、高気圧に覆われて晴れた日もあった。

下旬は冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の日が多かった。また、冬型の気圧配置が強く強力な寒気の影響を受けやすかったため、気温はかなり低くなった。

* 10分間降水量：1、0mm（10・16日） 多い方の第8位

* 日最高気温：7、3度 高い方の第2位

* 日最低気温：-24、8度 低い方の第6位

* 降雪の深さ：26cm（16日）多い方の第7位

2月」

シベリア高気圧は平年より勢力が強くアリューシャン低気圧は平年より南側で強くオホーツク海にかけて気圧が低かった。このため、月を通して冬型の気圧配置と低気圧や前線の影響により雪の降った日が多かった。28日には、南から暖かい空気が流れ込んだ影響で気温はかなり高くなり極値を更新した。

* 10分間降水量：1、0mm（25・26日） 多い方の第2位

* 日最高気温：10、1度（28日） 高い方の第1位

3月」

上・中旬は天気が数日の周期で変わり、前線を伴った低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪の降った日もあったが高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、南からの暖かい空気が流れ込みやすく気温はかなり高かった。下旬は晴れた日が多かったが、26日から27日かけ発達した低気圧の影響で雨が降った。

* 日最高気温：16、9度（22日） 高い方の第1位

* 日最低気温：2、9度（23日） 高い方の第7位

* 月平均気温：2、6度 高い方の第1位

【まとめ】

この冬は、3月の高温が特徴だった。去年は、2月の記録的大雪が特徴であったが、今冬は日降雪量の最大が1月16日の26センチと少なかった。また、11月から3月までの降雪量の合計は、令和3年から4年は487センチであったが令和4年から5年は328センチと約7割にとどまった。

また今冬は、寒気が南下しても規模が小さくかつ長続きしないのが特徴であった。これは偏西風が北に偏り、日本列島への寒気の南下を阻んだことによる。

数年前からラニーニャ減少が続いているが、この影響は北海道では顕著ではないとされている。

しかし、気象にはまだまだ解明されていないことが多くあるので、近視眼的な物の見方は避けたいものである。